

実施日：令和3年6月10日（木） コマ：1

事業名：BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

廃止0名	事業全体の抜本的な改善1名	事業内容の一部改善3名	現状通り2名
------	---------------	-------------	--------

【とりまとめコメント】

- 事業の成果測定について、定量的に整理し、情報公開も併せて行うべき。
- アウトカム目標の見直しや政策との関連性等、レビューシートの記載を改善すべき。
- ICTの環境要素が障害であるかどうかを検証すべき
- 6割が期待通りの成果が出ていないが、原因究明を徹底すべき。
- 明確なテーマ、目的意識をもって、モデル事業の採択を行うべき。
- モデル事業を地方公共団体にも普及させていくべき。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ モデル事業の情報公開量を増やし、アウトカムに、効果の認められた利用件数、利用者満足度や特にコスト削減効果をいれてもよいのではないか。
- ・ モデル事業からどのような成果が上がってきているのかがわかりにくい。課題を解決するためのモデル事業の採択であり、その成果を定量的に把握することが必要。事業の成果測定について、改善が必要である。
- ・ 6割が期待通りの成果が出ていないため、原因究明を徹底すべき。
- ・ テーマ選択の基準、合理性が不明。
- ・ 本当に技術的な共通課題等が解決されるのか、継続的な注視が必要。